

1. 略歴

1978年3月	青山学院大学文学部フランス文学科卒業
1994年4月	広島大学大学院教育学研究科（日本語教育）博士課程前期入学
1996年3月	広島大学大学院教育学研究科（日本語教育）博士課程前期修了（教育学修士）
1996年4月	愛媛大学教育学部、松山東雲女子大学人文学部非常勤講師
1998年4月	松山東雲女子大学人文学部専任講師
2000年4月	松山東雲女子大学人文学部助教授
2003年10月	愛媛大学留学生センター助教授
2011年9月	東京大学日本語教育センター教授
2014年7月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

日本語教育

b 研究課題

- 1) 日本語非母語話者の学習ニーズの多様化に対応しうる漢字教育のための調査・研究
- 2) アカデミックな日本語の教育方法および教材の開発
- 3) 地域および大学における日本語学習支援体制づくりのための調査・研究

c 概要と自己評価

教育面では、2014年度冬学期から大学院の留学生科目を、2015年度夏学期から国際交流室日本語教室の科目を担当し、文学部・人文社会系研究科における日本語教育プログラムと日本語学習環境の充実化を進めた。具体的には、留学生のアカデミックな日本語力を養成することに特化した科目を増やすとともに、留学生の日本語学習支援の土台作りとしての交流行事を企画し実施した。また、2015年度より日本語科目を全学に向けて開放する体制を整え、受け入れを進めているが、その結果として、受講者数が増え、授業自体が活性化しただけでなく、学部・研究科の壁を越えた学生のつながりが生まれ、それが本学部・研究科留学生の日本語科目受講を促進することとなった。

研究面では、「定住外国人のリテラシー」をテーマとする科学研究費（挑戦的萌芽、代表：新矢麻紀子）の調査（地域の外国人に対する日本語学習支援のための啓発活動）と実践（地域の外国人に対する文字指導を中核にしたリテラシー教育）を進め、その成果を国内外の学会で発表した。

d 主要業績

(1) 学会発表

国内、向井留実子・新矢麻紀子・高橋志野、「国際結婚移住女性への文字学習支援—多様な学習レディネスとニーズに着目して—」、日本語教育方法研究会、2014.9.6

国内、向井留実子・高橋志野・串田真知子、「中国語母語話者に対する漢字字形指導に関する一考察—日本語の手書き場面と日本人の理解度・許容度に着目して—」、2014年度第9回日本語教育学会研究集会、2014.12.20

国際、向井留実子・新矢麻紀子・高橋志野、「国際結婚移住女性の文字学習はなぜ進まないのか」、カナダ日本語教育振興会 2015年度年次大会、2015.8.21

(2) 啓蒙

向井留実子、「国際結婚移住女性への文字学習支援」、『文化交流研究』、2015.3

(3) 研究報告書

向井留実子、「中国人日本語学習者に対する漢字字形指導のための実態調査—学習者の理解度と漢字の使用実態に即したシラバス構築を目指して—」、『漢字・日本語教育研究』、第3号、138-195頁、2014.8

(4) 予稿・会議録

国内会議、向井留実子・高橋志野・串田真知子、「中国語母語話者に対する漢字字形指導に関する一考察—日本語の手書き場面と日本人の理解度・許容度に着目して—」、2014.12.20

国際会議、向井留実子・新矢麻紀子・高橋志野、「国際結婚移住女性の文字学習はなぜ進まないのか」、2015.8

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

セミナー、学校法人中村英数学園、「非漢字語圏の学習者に対する漢字指導」、2014.11

セミナー、愛媛県南宇和郡愛南町社会福祉協議会、「日本語サポーター入門講座 in 愛南」、2016.2-3

(2) 学会

国内、日本語教育学会、一般会員、1986～、評議員、2007～2013

日本語教育方法研究会、1997～、運営委員、2009～

専門日本語教育学会、一般会員、2005～

留学生教育学会、一般会員、2011～

国際、カナダ日本語教育振興会、一般会員、2015～